



会 議 録

八幡市教育委員会

開 催 日 時	令和4年1月25日（火曜日） 午後3時～午後3時43分	
場 所	分庁舎2階 会議室A	
出席委員名	小橋 秀生（教育長） 橋本 陽生（職務代理者） 八頭司 めぐみ 佐野 恵理子 狩野 理恵子	
委員を除く出席者の職・氏名	部次長 川中 尚 部次長 佐野 泰博 （生涯学習センター館長事務取扱） 教育総務課長 長尾 忠行 学校教育課長 古住 新 社会教育課長 辻 博之 文化財保護課長 八十島 豊成 保育・幼稚園課長 成田 孝一	教育支援センター所長 濱田 将行 教育集会所館長 畑中 敏之 図書館長 佐野 正樹 保育・幼稚園課主幹 高瀬 栄津子 教育総務課主幹 山口 潤也

1. 開 会

2. 報 告 事 項

(1) 八幡市成人式の参加状況について

(社会教育課) ※資料1

3. 議 題（協議事項）

(1) 八幡市の教育行政について

4. 配布資料

・9・10月分議事録（写し）

5. 閉 会

※次回定例教育委員会

日時：2月22日（火）午後2時15分から

場所：分庁舎2階 会議室A

※次回学校訪問先は男山中学校（11：30）です。

※午後3時30分から総合教育会議を開催する予定です。



	内 容
[教 育 長]	<p>1. 開 会</p> <p>それでは、令和4年1月度の定例教育委員会を開催いたします。</p> <p>2. 報告事項をお願いします。(1) 令和4年八幡市成人式の参加状況について事務局より報告願います。社会教育課。</p>
[辻 課 長]	<p>2. 報 告 事 項</p> <p>(1) 八幡市成人式の参加状況について</p> <p>令和4年八幡市成人式の参加状況について、ご報告申し上げます。恐れ入りますが、資料1をご覧くださいたく存じます。</p> <p>去る1月10日に挙行いたしました成人式は昨年と同様、感染防止対策を踏まえ、中学校区ごとに2部制で開催したものでございます。新成人の対象者数は744人。当日は第1部265人、第2部270人の計535人が参加され、うち市外参加者が27人でありました。昨年と比べますと77人増となっております。</p> <p>今回、式典のみの開催となりましたが、落ち着いた様子で成人式を無事に終えることができました。委員の皆様方におかれましては、お忙しい中ご出席を賜りまして、ありがとうございました。</p> <p>なお、当日は新成人を対象に松花堂庭園を無料開放し、新成人60人、同伴者95人の計155人の利用がございました。</p> <p>以上、簡単ではございますが、ご報告とさせていただきます。</p>
[教 育 長]	<p>ただいまの報告事項について、委員よりご質問等ございませんか。</p>
[橋 本 委 員]	<p>私も一市民として、非常に素晴らしい成人式を今年もやっていただき、本当にありがとうございますということを申し上げたいと思います。雰囲気を見ておりましても、非常に落ち着いた中で整然と、本当に仲のよい集団だったことを今年も感じることができました。人生の中の最初の一番大きな節目を八幡市が子どもたちに向かう姿勢の大事さ、これは大きな社会教育の一環であると思います。このコロナ禍の中で2部に分けて、限られた来賓等の中で、丁寧にやっていただきましたことを改めて感謝申し上げたいと思います。ありがとうございました。</p>
[教 育 長]	<p>他にご質問なり、ご意見等ございませんか。</p>
[佐 野 委 員]	<p>何回か成人式に参加させていただいて、今年の成人式ほど穏やかに終わられた、見られたことはなかったという感想が第一声だと思います。また、和太鼓の演奏もしていただきました。参加している成人の子たちもイベントに参加することで成人として気が引き締まる思いだと感じました。成人式を開催されたこと、本当にありがたいと思います。本当にありがとうございました。</p>
[教 育 長]	<p>他に何かご意見等ございませんか。よろしいでしょうか。</p> <p>それでは、これにて報告事項を終結いたします。</p> <p>次に、3. 議題に入らせていただきます。(1)「八幡市の教育行政について」を議題といたします。</p>
[狩 野 委 員]	<p>3. 議 題 (協 議 事 項)</p> <p>(1) 八幡市の教育行政について</p> <p>本日、案件はございませんが、委員の皆様からご意見、ご質問等がございましたら、何かいただけないでしょうか。</p> <p>コロナ禍においてオミクロン株の感染者 (https://www.pref.kyoto.jp/kentai/corona/hassei-heni.html) が毎日すごい数字で報告されていますけれども、八幡市において学校の状況はどのぐらいの形かな、対策はどのように取られているのかなというのを教えていただけたらありがたいなと思います。お願いします。</p>
[川 中 次 長]	<p>かなり厳しい状況になってきていると思っております。議員の皆様には毎日、学級閉鎖のメールを送らせていただいているような状況でございまして、なかなか落ち着いているような状況ではございません。ただ、学校間の差があるかなというように見えています。現時点で</p>



は、大きなクラスターというようなことではなく、感染拡大を防止する上での学級閉鎖を取り入れる対応をしています。詳細としては、当然ながら3密の回避でありますとか、手洗い、それから消毒の徹底、給食時間の黙食ですね。これは私も行ってびっくりするほど本当にきちっと子供たちがよく守っていると感じる場所でもあります。

基本的なところでいくと、マスクの着用で、最低限の感染予防ができるように聞いておりますので、保健所の感染基準 (<https://www.pref.chiba.lg.jp/kankou/documents/220207betten2.pdf>) においてもマスクなしで近い距離(50cm以内)で15分以上の何か接触というふうになると、学校で考えられるのは部活動か、あとは給食ですよ。その辺り、十分注意をしながら取組を進めているところでございます。

あと、中学校の部活動ですけれども、現在、土日はもう中止をしております。平日のみ2時間以内、校内のみという形で、1月の17日より対応を取っているところです。また、家族内に風邪症状のある者については、できれば出席を控えてくださいと、出席停止の扱いをしますという形で、これはもう17日の日に市教委のほうから一斉にメール配信を保護者のほうにさせていただいて、お願いをしているところではございます。

一定そのようなことも含めて、保護者のほうもご家庭のほうできちんとしていただいておりますので、何とか今この状況を保っています。今後につきましては、まだまだ届かないところがたくさんございますので、今後も十分注視していきながら、教室の換気でありますとか、今現在であれば完全に飛沫が飛ぶような活動、例えばリコーダーでありますとか合唱でありますとか、そういうものについては各学校のほうで十分配慮していただきながら一旦やめていただいているような状況もございます。

ただ、1点だけ私が気がかりなことは、あと1校だけ修学旅行に行けていません。小学校ですが、何とか3月になって、収まっていって修学旅行に行かせてやりたいなという思いではいっぱいです。

また、事務局といたしまして、それを支援するための何か方策についてできることであれば対応を考えているところですし、感染拡大を防止する上でも、例えば、濃厚接触者とか学校内で疑いがある者についての抗原検査についても対応していったところですが、ここに至って抗原検査のキットのほうで十分ではないところもあります。その辺りも事務局のほうでしっかりとサポートしてくれていますので、今のところ学校のほうに特に何か混乱が起こっているとか、そういうことはないと考えているところでございます。

ありがとうございます。他に何かご意見等はございませんか。

私もオミクロンに関わる影響と本日の学校訪問が中止になりいろいろな疑問点を教えていただこうかと思っています。今もご説明ありましたのですけれども、やはり、こういう事態に備えたタブレット等の活用を既に実行されていると思いますが、どのように活用されているのか分かりましたらお願いしたいと思います。

もう一点は、濃厚接触者がかなり出ているというのが大きな課題になっております。家庭内感染者の出た生徒児童への対応状況は、登校控え的な状況があるのかどうかという辺りのところですね。また、学校行事のできないところがあるのかなど。修学旅行については、あと1校ということでは何とか実現していただくということがあるんですけども、なかなかこの辺りが難しいかと思えます。その辺りもまた学校といろいろ工夫していただきまして、対策も考えていただきたいなと思えます。あと1点、新たな対応が日々、日替わりのように迫られており、本当に現場の先生方、校長先生も大変だと思えます。学校においても状況も違うし、学校でもいろんな今までにないような事象が急に現れてきて、校長先生をはじめ、どのような気持ちでおいでになるのか。その辺りのフォローをどのようにされているのかをお伺いできたらと思えます。よろしく申し上げます。

まず、タブレットの件ですけれども、これは学校によって当然差異はありますが、基本的には持って帰っていることが多いです。使用率が高いのは、健康観察。要は、必ず1日1回は顔を合わせるような、子どもたちも顔を出すという形での対応に使っていると聞いております。当然ながら、ドリルパークソフトもいろいろ入っておりますので、そういうものを活

[教育長]
[橋本委員]

[川中次長]



用しながら授業を進めているところもございます。学校によっては、もう授業をそのまま、黒板の前にタブレットを置いて、そのまま配信しているというような学校も実はございます。それぞれ学校によって実情も違いますので、水準の違いも当然ありますし、いろいろありますけれども、一定の授業の使い分けをしながら、今現在進めているところではございます。

次に家庭内感染における登校控えの問題ですが、この点につきましては、今月になって学級閉鎖等が起こっていますし、27日からまん延防止の指定を受けるということにもなっておりますので、学校といたしましては、感染拡大の地域であるということですので、もし心配でお休み、例えば学級閉鎖している学級に兄弟がいるとか、そのような形でお休みする場については、基本的には出席停止の扱いをしているところではございます。ただ、なかなか学びの場所の部分と感染拡大の防止という部分の考えからいいますと、難しいところかなと、学校としても判断が迫られているところかなとは思っています。このオミクロン株が急速な拡大に入りましたので、先ほど申しましたけれども、17日の校長会では、学級閉鎖等がある場合の兄弟も含めて、濃厚接触者も含めて出席停止扱いについて対応しているところです。子どもたちの不安感ですけれども、これも継続的で、すごく大きい問題ではないかなと思っています。言い換えれば、この2年間、よく校長の話で言いますが、保護者にしても、1年生の一番かわいい時期に参観日が一度もなかった。それから懇談会にしてもなかなか良い懇談会ができなかった。保護者との信頼関係も含めて構築しづらかった。保護者に子どもたちの様子を見てもらうというのもできていないので、子どもたちのほうも見てほしかったというのもあるでしょうし、それで頑張りたいというところもあったと思います。その辺りが1つ課題としてあるのかなと感じます。子どもだけではなくて保護者のほうの不安感というのかな、そういうものもちょっとあるのかなと思っています。

本当にこの第6波までの波のないときには、かなり学校は頑張ってくれまして、校外学習にも行きましたし、遠足も実施しましたし、様々な表現活動等も頑張ってくれました。合唱コンクールはちょっとできない学校がありましたけれども、体育大会については全ての学校で、運動会も全ての学校で分散ではありましたが、行うことができました。できる限り子どもたちには今しかできない体験をさせてあげたいという学校の思いが非常に大きいのではないかな。その辺りはある程度子どもたちも工夫していて、精神的な問題は見えないところがありますので、その辺り、私どもも注意をしていかなければならないんですけども、学校としてはそういう状況を見ながら適切に、何とか特別活動も含めてやってきたというのが現状ではないかなというふうに思っています。

委員のご指摘にもありましたけれども、教科の学習だけではなくて、クラブ等、顔と顔を合わせてだとか、子ども同士がお話しするだとか、何か自分たちでやり遂げるなんていう体験というのは、一番大事な体験であると思っておりますので、感染状況も踏まえながら、感染施設の対応をもうしていきたいなと考えているところです。

最後、校長先生の支援なんですけれども、私どももそうですけれども、ここで判断を悩むときがいっぱいありまして、できる限り校長先生と丁寧なお話、相談をしているところではあります。校長先生方も気軽に電話をしていただきますので、それに対してはできる限り対応をしていくということと、それからもう1つは、やっぱりきちっとした情報を伝えていくことだと、教育委員会の体制としてはそういうふうに考えているところです。

やはり、校長先生方が全てを全部網羅されて把握されているわけじゃないので、正しい情報というのをきちっと伝えていくことというのは、これは教育委員会の事務局のやるべきことかなと私も肝に銘じておりますので、例えば、私も全てが分かっているわけじゃないので、例えば教委と、それから健康部局等、保健所等と連携しながらそういう支援を今、行っているところではございます。

[教育長]
[橋本委員]

他に何かご質問、ご意見はございませんか。よろしいですか。

現状を踏まえた次年度への期待ですが、広い意味で八幡市は、ちょうど次年度に向けての計画がそろそろできつつあるとき、予算化されて、それが具現化されていこうという形になります。しかし、次長もおっしゃったように、非常にコロナ感染対策で、恐らくもうそれど



ころじゃないとは思いますが、それは申し上げにくいところではありますけれども、積極的に次に向けてのことも考えざるを得ませんし、考えなければ次年度は消極的なスタートということになってまいりますので、これは毎年の年度末にお願いしていますが、やはり教育とは人ということで、先生方が未来を見つめた視点をもった教育観を育てていただかなければ、やはり子どもたちを引っ張っていくことはできないと考えています。

京都府だけを見ても駄目だと思いますし、研修というのは外に出て、やはり、いろいろな今までと違う環境の中にある教育を見てくると、実際身をもって見てくると、こういうのが私の経験からしても一番大きな学びであったと思います。外国は今行けませんので、そういうことは置いておいてもですね。国のほうも子ども家庭庁ですか、こういう新たな、大きなシステム自体が変わろうとしているところでもあります。この辺りの情報を的確に早く、あと先進例として私の市でやらせてくださいというぐらいの、こういうふうな申出の機会があるのであれば学びながら、そういう知識を吸収しながら学ぶと。今言った先進的な取組の機会があれば、やろうと思ったらやれるかもしれません。やるというんじゃないですけども。やはり、学校を動かしていく、市を動かしていく新たなものに挑戦しようと思いますと、やはりそういうプロジェクトというのか、推進校というのか、こんなものを自ら立ち上げて、テーマを持って臨むのが一番早いかなと思います。私たちが次年度何を一番大きなテーマとして、そういう開発的な教育を進めるかという辺りのところも、それにもらんでいただいて、予算も含めて考えていただければなと考えます。やはり、そのためには、お金はついたけれども、人というのはある程度見通して動かなければなかなかそのテーマに合ったものを適用することはできませんので、人事という辺りのところにもらみながら続けていただければありがたいなと思います。

それから、構造的な面ですけども、やはり学校教育だけに目を向ける時代ではありません。社会教育との関係というのはまだまだ、これは八幡市だけじゃなくて全国的に見て、コミュニティスクールというのはかなり言われておりますけれども、コミュニティスクールをやれというんじゃないんですけれども、そういう社会教育と学校教育との関係という辺りで学校だけでは回らない。選任を入れていない、そしたら何もできないのか。いや、地域があるかじゃないか、いろいろな人のサポートがあるではないか。あるいは、いろいろな府の施策の中でどうつなげていくという、このつなげるシステムづくりというんでしょうか、この辺りがつなげていない部分があるならば、つなげる部分もいまだ見つけておいて、できるだけつなげるよう、広くいろんな形で柔軟につなげるようにしていくと、こういうふうなものも次年度新たな取組を始めるときに大切になってくるのかなと。

もう既に思っておられる、分かっておられるけどできんというようなことばかり申し上げて、非常に恐縮なんですけれども、ぜひ年度末に当たりまして、次年度にいろんなことを期待するという意味で、もし実現できることだったら進めていただければありがたいなと思っていますところ。余計なことまで申し上げました。失礼しました。

[教育長]

他に何かご意見等ございせんか。よろしいでしょうか。

[狩野委員]

八幡市は、生理の貧困に対応をされて、子どもが申請しなくてもトイレにきちっと配慮された。その後の経過はどのような形ですか。把握されている範囲で教えていただけたらと思います。

[川中次長]

試行という形式で実施していますが、結構使用されているようです。学校間の差はありますが、週に10個から20個ぐらい出ると聞いています。

心配していた、必要のない子が持っていかないと学校に聞いてみると無いようでした。やはり、必要な子どもたちが必要な分だけきちっと持っていつている。また、補充についても準備をきちっとしていただいておりますので、その部分でも今のところ、心配なく動いているかな。あくまで試行段階ですが、現状が続けば来年度も現行のまま実施したいと思っています。ただ、これを小学校に展開していくかどうかということについては、いろいろ検討が必要かなと思っていますので、現時点では来年度については中学校で試行をそのまま続けていこうかなと思っています。



ただ、1点だけ気になることがあります、トイレに置いてしまうと、保健室への来室、要は困ったときの来室が実施前より減っています。それは私ども教員側からしてみれば逆に子どもたちをキャッチする1つの手段が1つ少なくなっている。それを養護教諭から「1つ減ってるのが気になるんや」という。今までそれで保健室で健康の話ができたりして、次のステップ、機会につなげたりだとか、何らかの支援が、ほかの支援がいていたところが1回は自分で行けるところでもありますので、その辺りが少し気にはなるというような報告は私どもは受けております。ただ、デリケートな問題でもございますので、子どもたちによってはわざわざ言いに行けなかった子どもたちも絶対いたはずですから、その子どもたちの手に渡っているということが、これが重要なことだと考えておりますので、先ほども申しましたけれども、このまま試行に続けていきたいなというふうに現時点では考えているところ

[教育長] その他に何かございますか。ないようでありますので、これにて議題を終結いたします。次に、配布資料につきまして、事務局より説明願います。教育総務課。

4. 配布資料

[長尾課長] 本日の配布資料です。9月と10月分の定例教育委員会の議事録の写しをお手元にお届けをしております。

[教育長] それでは、何かご意見、ご質問等ございませんか。よろしいでしょうか。それではこれにてその他を終結いたします。

[長尾課長] 次に次回の定例教育委員会の日程につきまして、事務局より説明願います。教育総務課。次回、定例教育委員会です。2月22日火曜日、午後2時15分から分庁舎2階の会議室Aで行います。

学校訪問については、こちら男山東中学、11時半からと書いておるんですけども、本日、有都こども園と東中学がコロナの関係で延期になりましたので、改めて調整をいたしまして、皆様にご報告をさせていただきます。

あと、この定例教育委員会が終わりましたら、午後3時30分から総合教育会議を開催をする予定にしておりますので、よろしく願います。

以上です。

[教育長] ありがとうございます。

5. 閉会

それでは、以上をもちまして、1月度の定例教育委員会を閉会させていただきます。皆様、どうもご苦労さまでございました。

令和4年八幡市成人式の参加状況について

1. 日 時 令和4年1月10日（月・祝）
第一部：10時30分開式
（男山中・男山第二中学校区）
第二部：13時30分開式
（男山第三中・男山東中学校区）
2. 会 場 八幡市文化センター大ホール
3. 対 象 対象者（平成13年4月2日から平成14年4月1日生）
対象者数 744人
当日参加数 535人（第一部265人・第二部270人）
（うち市外参加者27人、出席率71.9%）
4. その他 松花堂庭園無料入園者数
新成人60人・同伴者95人 計155人